

U01a ビッグバンの以前、電磁気達が集まった状態のエネルギーと質量と大きさと体積と比重、及び、ビッグバン後、電子のラブと陽子のラブのエネルギーと質量と大きさと体積と比重の変化

小堀しづ

ビッグバンは電子のラブができ、自転するようになったから起きた。電子のラブのダークマターができる事によって、空間はどれだけ大きく成ったか。電子のラブのダークマターの自転軌道÷電子のラブが電磁気の固まりであった時の電子のラブの大きさ = $8.665 \times 10^{-24} \text{m} \div (1.233 \times 10^{-41} \text{m}) = 7.028 \times 10^{17}$ (倍)、に成った。ビッグバンの以前、陽子のラブの質量エネルギーは1836Jでした。それが、現代、地表では、陽子のラブの質量エネルギーは $1.503 \times 10^{-10} \text{J}$ です。陽子のラブの質量エネルギーと比重はどのように変化したか。電子のラブの変化と陽子のラブの変化を表に示す。電子のラブの変化と陽子のラブの変化より何が理解できるか。同じ星でも、初期の星のエネルギーは大きかった。同じ星でも、初期の星の質量は大きかった。同じ星でも、初期の星の大きさは小さかった。同じ星でも、初期の星の比重は大きかった。同じ星でも、遠くの星ほど星のエネルギーは大きかった。同じ星でも、遠くの星ほど星の質量は大きかった。同じ星でも、遠くの星ほど星の大きさは小さかった。同じ星でも、遠くの星ほど星の比重は大きかった。このように考えると、宇宙全体のエネルギーも減少し、宇宙全体の質量も減少し、宇宙全体の大きさは大きく成り、宇宙全体の体積は大きく成り、宇宙全体の比重は減少している。素粒子のエネルギーの比は宇宙のエネルギーの比です。素粒子の質量の比は宇宙の質量の比です。素粒子の大きさの比は宇宙の大きさです。素粒子の体積の比は宇宙の体積の比です。素粒子の比重の比は宇宙の比重の比です。(特願 2017-194062)